

## 付属推薦・指定校推薦出願状況

高3は基礎学力到達度テストの結果が出ただけでなく、出願先も決定している状況です。今年度の付属推薦の出願状況をまとめました。

今年度の基礎学力到達度テストの結果を受けて、各受験生が自分の希望する学科に出願します。基礎学力選抜については、志望学科選定の際の判断材料として、各学科における過去の最低通過順位を参考にしています。その結果、大学出願前の選抜に当たる「セクション」を経て、以下の表のような通過者の数となっています。特にそのセクションでは、187名のエントリーに対して180名が通過できました。また付属特別選抜の豊山枠については、校内での成績をもとに2回の校内選考を経て選抜されました。文系では法学部と経済学部、理系では理工学部が多くの出願となりました。特に理工学部は毎年豊山からの出願者数が多く、付属高校の中でも最も多くの合格者を出しています。



	基礎学力	付属特別	国公立併願	合計
法	33	15	0	48
法(二部)	1	1	0	2
文理	28	3	—	31
経済	19	26	0	45
商	11	13	0	24
芸術	8	4	—	12
国際関係	0	0	0	0
危機管理	5	2	—	7
スポーツ科	1	1	—	2
理工	51	51	0	102
生産工	10	12	0	22
工	0	0	0	0
医	2	—	—	2
歯	0	—	—	0
松戸歯	1	0	0	1
生物資源科	9	4	0	13
薬	1	1	0	2
短大三島	0	0	—	0
短大船橋	0	—	—	0
合計	180	133	0	313

各学部の人数で「0」は出願者がいないことを表し、「—」は学部がその方式を採用していないことを表しています。

**＜指定校出願校＞**  
上智大学、明治大学、立教大学、中央大学、法政大学、学習院大学、東京理科大学、北里大学、芝浦工業大学、帝京平成大学、東京経済大学、東京工科大学、東京電機大学、東京都市大学、東京農業大学、東洋大学、明治学院大学、武蔵野大学、武蔵大学、立正大学等

指定校についても出願生徒が順次決定しています。校内での成績をもとに、希望者の中で10月1日(水)と14日(火)に校内選考が行われました。今年度は2回の選考で92名の希望に対して61名が通過しました。また、指定校推薦は進学クラスや体育クラスのみならず特進クラスも希望できますが、力が強い総合序列の上位にいる生徒が人気校に通過するケースが多くなります。また、人気校である東京理科大学と芝浦工業大学は、今年度新たに新設学科の指定校枠を豊山高校に割り当ていただきました。

指定校推薦というのは、各大学の判断で本校に推薦枠を割り当てていただいているものですので、校内選考を通過した生徒はこれまでの先輩以上の頑張りを期待します。

今後は、11月上旬を中心に出願が行われ、その後各大学での選考を経て合否が決定する予定です。



## 指定校推薦で気をつけること

本校は非常に多くの大学・専門職大学・専門学校等から指定校推薦の枠をいただいています。今年度の高3は、現在のところ61名が指定校推薦で進学先を決めようとしています。高1・2で指定校推薦での進学を考えている人もいますが、いくつか注意点があります。

### 1. 出願条件に達していなかった。

指定校推薦の出願条件として「**評定平均値**」を認識している生徒も多いと思います。ただし、それだけではない大学等も多いです。「**欠席日数**」や「**資格取得**(特に英検が多い)」, 特殊などでは「オープンキャンパスに参加した」「課外活動の実績がある」などの条件がある場合があります。同じ大学であっても学部や学科で出願基準が異なることがあり、慎重に確認する必要があります。例年、9月に大まかな基準が掲載された一覧表が配布されます。そこにすべての情報が書いてあるわけではないので、担任の先生と一緒に要項をよく確認して校内選考にエントリーするようにしましょう。

### 2. 必ず合格するわけではない＆枠がなくなることがある。

指定校推薦は高校と大学等との信頼関係で行われるものです。原則として不合格になることはほとんどありませんが、100%合格ではないのも事実です。面接や小論文などの対策はしっかりと行いましょう。また、指定校推薦で進学した場合、その人の大学での学習態度や成績等が悪いと、翌年度から指定校推薦の枠がなくなってしまうことがあります。後輩のためにも「学校を代表して」進学したという責任をもった学生生活を送ってください。

### 3. 校内選考通過後は辞退できない！

校内選考通過後は必ず入学まで進んでもらうことになります。また、他の推薦と同時進行することもできないので注意してください。

\*\*\*\*\*

## 調査書について知っておこう

高校の「調査書」は、大学等への出願において欠かせない書類の1つです。豊山の先生方が作成するこの書類は、必ず厳封された状態(開封された調査書は無効になります)で大学に提出するため、受験生や保護者の方が中身を目にする機会はありません。そのため今回は調査書に記載される各項目を知ってもらうことで、少しでも出願準備の手助けになればと思います。

### 【調査書の主な内容】

- 各教科・科目の学習の記録  
(学年ごとの各科目の単位数と評定)
- 各教科の学習成績の状況  
(各教科・全科目の評定平均値)
- 学習成績概評  
(3ヶ年の成績をA～Eの5段階で表したもの)
- 総合的な探究の時間の記録(内容・評価等)
- 特別活動の記録  
(クラスでの係・委員会等の生徒会活動、学校行事の役割等)
- 指導上参考となる諸事項  
(学習における特徴等や行動に関する所見、部活動、ボランティア活動、留学・海外経験、取得資格・検定、表彰・顕彰等の記録等)
- 出欠の記録(欠席日数やその理由)



この書類は大学入試の面接の参考資料としても活用され、一部では調査書の内容を得点化して一般選抜の得点に加算するなど、積極的に活用している大学もあります。そのため、調査書がどの程度活用されているのかを確認しなければなりません。

最後に、発行には時間がかかるため必要となる日の10日前には申し込みをして下さい。

# 高3 面接指導講演会



学校推薦型選抜・総合型選抜による受験を志望している高3は10月31日現在、志望理由書などの出願書類の作成が終わりました。この後にはそういった出願書類をもとに各大学・学部での面接を課しているところもあります。

本校では面接対策として、実際に面接を受ける予定のある高3の生徒が参加した「面接指導講演会」の動画を高3対象に配信しています。高3の生徒は例年、この動画を当日まで繰り返し視聴してから面接に臨んでいます。面接時の服装・入退室時のマナー・よく問われる質問・自己PRやエピソードの作り方・オンライン面接の留意事項等、面接当日までに必要な準備や心得を動画を観ながら確認し、当日は万全な受け答えが出来るように取り組んでいきましょう。



理論編では、面接でのポイントについて紹介され、実践編では、模擬面接で面接官とのやり取りが再現されています。大学で何をやりたいのかは具体的に話せるように準備したいですね。



\*\*\*\*\*

## 共通テスト出願内容確認

大学入学共通テストの出願は10月3日(金)に締め切られました。その後、10月10日(金)～17日(金)が出願内容の確認・訂正期間として設けられていました。

出願内容の確認・訂正期間経過後は右の項目を除いて一切訂正できません。

項目	マイページでの訂正方法
メールアドレス	メールアドレス変更
マイページのパスワード	パスワード変更
氏名(漢字等・カナ)	
生年月日	登録情報変更
電話番号	



12月から受験票が取得できます。注意点は以下の3点です。

- ① 受験票は、共通テスト出願サイトのマイページから各自で取得・印刷し、試験当日に持参する。
- ② スマートフォン等での画面表示では試験場に入場できないので、必ず紙に印刷された受験票を試験当日に持参する。
- ③ 令和7年12月10日(水)10:00～令和8年4月30日(木)23:59が取得期間となっている。印刷をしたら、以下の確認ポイントをチェックしましょう。

### ○ 受験票の確認ポイント

## 実用英語技能検定について

大学入試において、英語資格の検定試験の結果を入試判定に利用している大学があります。代表的なものは以下の通りです。

ケンブリッジ英語検定		実用英語技能検定	
GTEC	IELTS	TOEFL	TOEIC

よく、「どの検定を受ければ良いのか?」という質問を受けます。それぞれの試験の特性(検定料、年間実施回数など)があり、特定の試験を勧めることは難しいです。ただ、中学時代から継続して受検しているだろう英検を軸に考えるのが一番の近道だと思います。もちろん、早期から海外留学を考え、IELTSやTOEFLを何度も受けている生徒はそれを使うのが良いですね。このような検定試験は、1度や2度受けただけで、すぐに自身の実力が反映されるわけではありません。

英検は昨年度480校の大学入試において、以下のような形で利用されました。

- ① 該当級の合否が問われるもの
- ② 合否ではなく、スコアのみを活用するもの
- ③ 学校推薦型選抜や総合型選抜の出願基準かつ、合否やスコアに応じて



- ① 英語の試験が免除となる
  - ② 英語の試験の代わりに、得点が決定する
  - ③ 英語の試験の得点に、得点が加算される
- というパターンがあります。各大学によって異なるので、予め調べておく必要があります。

注意事項としては、出願する大学により、検定試験の結果の有効期限があります(取得してから2年以内など)。中学時代に取得したものが、実は使えなくなっているケースもあります。また、実施回数は年間3回しかないで、S-CBTも活用していく必要があります。



\*\*\*\*\*

### 11・12月の進路行事

日	月	内容
11月8日(土)～23日(日)		各学部付属推薦選考日(高3)
12月1日(月)		追加募集実施学部学科発表(高3)
12月4日(木)		追加募集セレクション申告届提出(高3)
12月5日(金)		追加募集セレクション結果発表(高3)
12月9日(火)		追加募集校内出願期日(高3)

※追加募集合格発表は学部による

高3の付属推薦は、学部や方式によっては書類選考だけの場合がありますが、原則として面接、学部によっては小論文や実技があることがあります。下表に日程を掲載しておりますので、十分な準備をして臨んでください。また、過去の受験生アンケートをロイノートで閲覧ができるようにしています。面接練習は本校HPから動画を観たり、担任にアドバイスをもらうなどしてください。

学部	選考日	合格発表	手続締切	学部	選考日	合格発表	手続締切
法	11/16	12/1	12/12	生産工	11/16	12/1	12/12
文理	11/15	12/1	12/15	工	11/15	12/1	12/18
経済	—	12/1	12/15	医	11/15	12/1	12/8
商	11/15	12/1	12/11	歯	11/15	12/1	12/8
芸術	11/23	12/1	12/12	松戸歯	11/15	12/1	12/11
国際関係	11/15	12/1	12/12	生物資源科	11/22	12/1	12/12
危機管理	11/16	12/1	12/12	薬	11/15	12/1	12/11
スポーツ科	11/16	12/1	12/12	短大三島	11/15	12/1	12/12
理工	11/15	12/1	12/15	短大船橋	11/8	12/1	12/12

※経済学部は「書類審査と事前課題」で選考する。  
※経済学部以外の選考日は、実施する選抜方式の日付を記載している。

追加募集は、基礎学力選抜の合格発表後(12/1)に各学部で行われます。ただし、実施の有無については基礎学力選抜の募集人員を充足しなかった学部学科がある場合に限り各学部が実施の判断を行います。また、基礎学力選抜の3回目のセレクションという位置づけになるので、2回目までのセレクションの最低通過順位を超えている生徒のみがエントリーの対象となります。

次回12月号は、11月末に発行予定です